

熊本様

ご質問に対する回答

2011年4月19日 櫻田 忠衛

日頃からの自転車競技の普及や向上等、ご尽力されていることに心から敬意を表します。さて、今回、市長選挙にあたり、下記の質問をいただきましたので回答させていただきます。ただ、時間がないため、十分にお話を伺った上で回答することが出来ません。不十分な部分があるかと思いますが、ご容赦下さい。

ご質問は、下記の4点です。

- ①向日市として競輪場をどう捉えるか
- ②存廃についてどう思うか
- ③府に対して注文を付けるのか。それはどのようなものか
- ④府が施行権を放棄するとき包括委託などで施行者（管理者）となるか

まず、①についてですが、向日町競輪場が、庶民の娯楽として、また地元雇用の場として、さらに向日市民まつりなどイベント会場の提供や市への毎年4千万円の環境整備費を納入いただくなど、地域経済に貢献してきたと考えます。また同時に、競輪開催が、市内の交通渋滞をまねき、児童の下校時の安全を阻害する出来事や一部ファンの方の迷惑行為（最近はまだ聞きませんが）も発生し、府競輪対策協議会がつくられ、競輪開催の諸問題が報告・審議され、地元要望等も取り上げられてきたと伺っています。

自転車競技の普及や活性化のために努力されている皆様の立場からすれば、向日町競輪の存続発展を指向されるのは当然と考えます。が、あくまで、向日町競輪場の存廃は京都府が判断されることなので、私と致しましては市民のみなさんのご要望をよく伺い、対応していきたいと考えます。

②・④についてですが、あくまで、京都府が判断される問題だと考えます。ただし、皆様方の主張はあまり市民には伝わっていないと思います。京都府の判断、向日市民の意見集約の上でも、情報を広く共有し、議論した上での判断が必要だと考えます。今回の東日本大震災での府民からの支援物資の受付場所として活用されたことなども配慮すべきです。その上で、包括委託などでの「存続」という選択肢が出てきた場合も、基本は京都府の責任で進めていくことになると思います。

③についてですが、まず、存廃の決定に慎重であることを求めつつ、存廃の決定や跡地の活用、雇用の問題等について、議会での議論も含め、向日市民の意向をしっかりとくんでいただくように要求していきたいと思います。すでに、跡地利用について、大手住宅メーカーが用地取得し、住宅開発を進めるという噂が広まっています。京都府に対して、しっかり情報公開すること、跡地利用も含め、決定にあたっては市民の意見を反映させることを求めていきたいと考えます。その際、議会だけでなく、広く市民の意見を集約していけるような場、機関を設けていきたいと考えますので、その際には、積極的に関わっていただければと考えます。また、競輪場の廃止ということになれば、競輪場で働く皆さんの雇用問題が大きな課題になります。雇用主としての京都府の責任を果たすことを求めると共に、向日市での雇用も可能な限り、対応していくことが必要だと考えます。

以上